

令和5年度 藤枝市社会資本総合整備計画評価委員会 意見とりまとめ

番号	整備計画名	意見	対応
1	安全安心の確保と、人と自然がもっと元気になる再整備計画	(秋田委員) 蓮華寺池公園の再整備によって、賑わいを感じている。また、旧市街地や周辺商店街への導線整備と合間って、生産拡大効果や経済的効果に期待している。周囲へ良い効果を波及できるよう、今後も整備を進めていただきたい。	ご意見を踏まえ、今後も整備を推進していく。
		(秋田委員) 蓮華寺池公園でのイベントについて、園内の色々な場所で開催しているため、どこで何のイベントしているのかわかりにくい。公園全体の案内や運営方法について、総合的なプロデュースを検討していただきたい。	今後、エントランスゾーン付近で公園のイベント情報の表示や、公園周辺の商店街等の情報を総合的に発信する施設の整備を検討している。
		(松本委員長) 民間活用を検討しているならば、アンケートを取って事業に反映させるなど、より効果的な活用をして欲しい。	今後の事業の参考とする。
2	藤枝市の安全で快適な自転車利用環境創出	(松本委員長) 矢羽根の路面標示位置が車道の内側・外側のどちらかによって、事故発生件数が変化しているなどの傾向はあるか。	市内では、自転車通行可の歩道も多く、矢羽根設置位置の違いによる事故件数の傾向までは検証できていない。しかし、矢羽根を外側線の内側に標示したことが原因となって事故が増えているということはない。
		(立石委員) 中高生に限らず、子どもや免許を返納している高齢者など、多くの方が自転車を利用している。通行ルールの周知をより広くしていくべき。	今後の事業の参考とする。

番号	整備計画名	意見	対応
2	藤枝市の安全で快適な自転車利用環境創出	(中村委員) 路面標示による効果はあると認識しているが、矢羽根が自転車の通行空間であることを知らない人もいるため、自転車マークのピクトグラムを多めに設置するとよい。	今後の事業の参考とする。
		(中村委員) 藤枝市は高校生をはじめとして自転車利用者も多い地域であるため、今後も事業を継続し、長距離で整備を進めていっていただきたい。	今後の事業の参考とする。
		(松本委員長) 自転車の通行ルールをより広く周知し、ルール遵守率の向上を数値化・指標化できるとよい。	今後の事業の参考とする。
3	快適な住環境と広域交流基盤整備計画	(秋田委員) 道路整備は、周辺の産業や土地利用の増加などに影響も与えるため、そういった二次的評価についても報告できるとよい。	今後の事業の参考とする。
		(松本委員長) 今回の計画で未完了となった事業について、新たな整備計画で継続していくとのことだが、指標は今回の整備計画と同じ設定か。	同じ指標を設定している。
		(松本委員長) 今回の整備計画で設定された指標については、目標値の達成に至らないという結果だが、道路整備による利便性の向上など、二次的な効果も発生していると考えられる。また、「到達時間の短縮」の計測方法について、拠点間の走行時間を計測しているが、利用者の交通行動が所要時間に影響する可能性もあるため、貨幣価値へ変換することもひとつの手法である。	今後の事業の参考とする。

番号	整備計画名	意見	対応
3	快適な住環境と広域交流基盤整備計画	(中村委員) 道路整備の効果については、知らず知らずのうちに出ていること。今後ともより良い整備を進めていっていただきたい。	ご意見を踏まえ、今後も整備を推進していく。
		(秋田委員) 今後とも積極的に整備を進め、部分開通の箇所も全面開通に向けて頑張ってください。	ご意見を踏まえ、今後も整備を推進していく。
4	藤枝市における宅地耐震化事業	(秋田委員) 今回実施した調査の結果「追加調査が必要」となった箇所、「経過観察」となった箇所、それぞれについてハザードマップのような形で公表できると市民の安心にもつながると考える。結果について、市民への周知はどのようにされる予定か。	第一次スクリーニングの結果については公表済みである。第二次スクリーニング計画については、今回の調査により、「追加調査が必要」となった4か所の調査を実施したのち、市としての整備方針を決定したうえで公表してく予定である。
		(松本委員長) 調査結果を公表することによる「市民の安心度」も事業の評価における二次的な指標となり得る。	今後、指標を検討する際の参考とする。